学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科 （建築系）	科目	建築製図	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	『建築設計製図』（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

木構造や鉄筋コンクリート構造の作図方法と表現は、他の建築座学科目（建築構造・建築構造設計・建築施工）の知識と合わせて考えて学習に取り組んでください。そうすることにより、設計の仕方や考え方、構造の特性について十分に理解できるようになります。

各図面の種類とその縮尺との関係、部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方などを理解して、二級建築士の作図表現に対応できる基礎的な技術を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

木構造及び鉄筋コンクリート構造の各種図面の種類と、その縮尺との関係を理解し、各種構造の特徴である部材の組立・接合の方法と表現、仕上材の取り付け方などの製図に関する日本産業規格及び各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する基本的な知識を身に付け、各種図面の役割と相互関係を合理的に読み取ることでき、その技術を適切に活用する能力を身に付けている。	建築設計製図の基礎的な知識と技術を基に、各種建築物の作図方法を判断し、適確な製図法で表現する能力を身に付けている。	建築設計製図に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	木構造の設計製図	1. 木構造の設計 1)木構造の設計手順 2)木構造の基礎知識 2. 木構造の製図 1)配置図・平面図 2)立面図・断面図 3)断面詳細図 4)各伏図 5)軸組図	a: 木構造の作図に関する基本的な知識を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: 木構造の基礎的な知識と技術を基に、各種建築物の作図方法を判断し、適確な製図法で表現する能力を身に付けている。 c: 木構造の作図に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	学習状況 観察 製図課題 内容	学習状況 観察 製図課題 内容	授業準備 状況 授業参加 状況 製図課題 提出状況
後期	鉄筋コンクリート構造の設計製図	1. 鉄筋コンクリート構造の設計 1)鉄筋コンクリート構造の設計手順 2)鉄筋コンクリート構造の基礎知識 2. 鉄筋コンクリート構造の製図 1)配置図・平面図 2)立面図・断面図 3)断面詳細図	a: 鉄筋コンクリート構造の作図に関する基本的な知識を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b: 鉄筋コンクリート構造の基礎的な知識と技術を基に、各種建築物の作図方法を判断し、適確な製図法で表現する能力を身に付けている。 c: 鉄筋コンクリート構造の作図に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	学習状況 観察 製図課題 内容	学習状況 観察 製図課題 内容	授業準備 状況 授業参加 状況 製図課題 提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度